

粒状 土づくりの強いみかた

# 農カアツプ

のうりよく



猛暑

冷害

大雨

強風

などの異常気象に強い稲づくりに



倒伏軽減!

収量アップ!

高温障害対策!

根腐れ・  
秋落ち対策!

食味・  
品質の向上!

※天候や土壌条件により  
効果に差があります。

ケイ酸

アルカリ分

リン酸

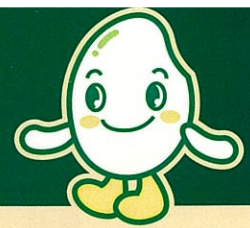
マンガン

苦土

鉄

田んぼの土づくりに必要なケイ酸や石灰、苦土の他に、  
各種ミネラルをバランス良く含みます。  
このようなミネラルは自然界では減る一方。  
そこで常に補給を心掛け、異常気象を乗り切りましょう。

# 農力アップの優れた特徴



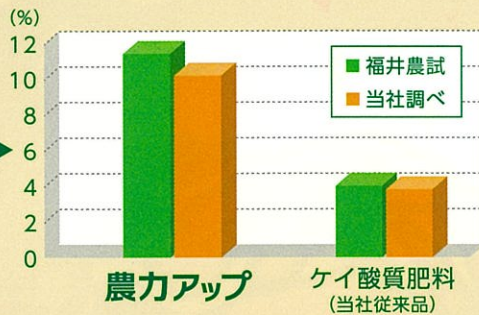
保証成分 (%)				含有成分 (%)		
可溶性ケイ酸	アルカリ分	<溶性苦土	<溶性マンガン	<溶性リン酸	鉄分	ホウ素
20	43	2	1.2	2.5	12	微量

※保証成分: 肥料の品質の確保等に関する法律による公定規格に基づく計算値を表示 含有成分: 実分析値に基づく標準成分値を表示

1

ケイ酸は、葉や茎を丈夫にし、倒伏や冷害・高温障害に強いイネをつくります。農力アップのケイ酸溶出率は、一般的なケイ酸質肥料(当社従来品)の約3倍。効果的にケイ酸の補給ができます。

ケイ酸溶出率



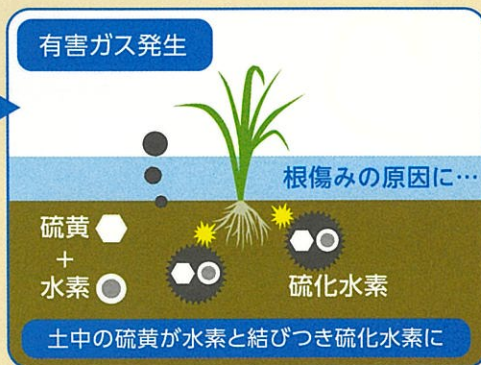
POINT!

水田土壌と同じ条件下に近い実験条件で評価できる「加藤法」によりケイ酸溶出率を評価しました。尚、全農営農・技術センターでの水稻ポット試験でも、ケイ酸の高い吸収利用率が確認されています。

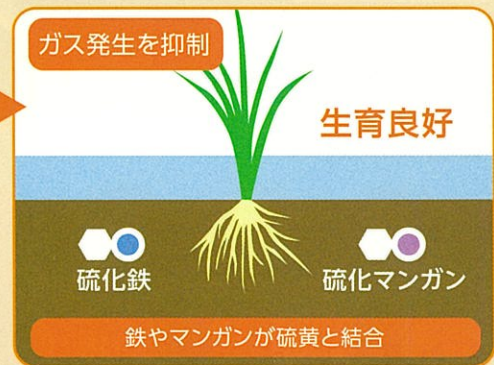
2

夏場の高温期に有害な硫化水素ガスが発生すると根が傷みます。鉄やマンガンは、この硫化水素ガスによる被害を軽減します。

鉄やマンガンが足りない



鉄やマンガンが入っていると



## 農力アップの使い方

標準施用量

60kg / 10a

※施用量は土壌診断の結果や、土壌の肥沃度により加減してください。

散布時期

- 晩秋～春に施用し耕起してください。
- 春に施用する場合には、代掻きの約2週間前までを目安にしてください。